

評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日：令和5年 12月 7日

事業所名	グループホーム和楽
担当者名	松村 久仁子
連絡先	0835-28-8731

運営推進会議等での評価実施日 令和5年 11月 9日

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(別紙1)自己評価・外部評価 評価表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)

(別紙2-2)事業所自己評価

(別紙2-4)サービス評価総括表

看護小規模多機能型居宅介護

(別紙3-3)運営推進会議における評価

認知症対応型共同生活介護

(別紙2の2)自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係

E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (グループホーム 和楽)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人研修、職員研修、日々の勤務で管理者が伝え、説明・共有している。			理念を職員と共有ができていると思うが、和楽・新田の楽さん家と異なる事業所のため、理念は別々でも良いのではないかな？
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの感染状況で、外出を検討している。楽さん家だよりの配布や、地域の喫茶店に食事に行き交流を開始し始めた。	○楽さん家だよりの作成している新聞 ○地域との関わり(散歩・外食等)		楽さん家だよりの、回覧板で各家庭にまわし、情報提供を行う事ができる。必要時には自治会長に要相談。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類になった事と感染予防に注意を行いながら、対面で開催を行い、委員の方へ直接意見を伺う事ができている。予定があり、参加が難しい方に関しては資料配布・意見聴取を行っている。	○コロナが5類へ変更になり、運営推進会議も対面で行うようになってからの取り組みについて。		コロナが5類になり、それまで各委員に資料配布・意見徴収を行い、まとめていたが、今後は対面で会議が可能のため、意見が伝えやすくなると思う。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH連絡会(防府市・市内のGHの施設長や管理者が出席)への参加や制度面で不明な内容がある時には、市の担当者の方へ相談し、適宜回答を頂いている。	○市町村との連携について		行政へ制度面や不明な内容に関して意見を伝えられているとの事で、今後も対応をしていく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議や研修で身体拘束について学んでいる。玄関の施錠については、安全面のため、夜間と必要に応じて施錠している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は施錠を行っていないが、夜間は職員が一人体制(20時～翌朝8時)になるため、入居者の方の安全面を考慮し、施錠はやむを得ないと思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議(4回/年)や研修(2回/年)で虐待防止関係についても学んでいる。身体拘束適正化会議は、運営推進会議を活用して対応している(4回のうちの1回を運営推進会議で対応予定)。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仕事の内容が、人対人のためストレスは溜まると思う。休みはしっかり休み、ストレスマネジメントを行うことで、新たな気持ちで入れるようにしていく。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修で成年後見制度について対応しているが、機会があれば外部研修も感染状況を見ながら行っていきたい。			ユーチューブ等でもわかりやすく説明・解説をされている動画があるので、活用してもよいのではないかと？
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約当日、説明・同意後、署名捺印を行っている。また後日不明な点があれば、面会時や常時電話連絡で疑問点を確認・返答している。			契約等の内容で不明な点があれば、後日でも質問等があれば、その都度お伝えしている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者・家族に関しては、ご意見・要望を言って頂けるように面会時や電話やメールで対応している。必要時には、要望シートを作成し、他職員へ伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報を全職員へ伝えていき、まだできていない事は何か明確にに対応していければいいと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議や何かあれば会議以外でも対応している。又必要に応じて、職員会議を開催し、意見を聞いている。会社へ報告する内容は、経営会議で報告している。			全体会議の場以外でも個別で話をしている。職員が働きやすいように、改善点や要望が出たら、早期解決を行う。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業環境については、職員から意見があがった時には、管理者より代表者へ伝えている。勤続年数や資格に応じた、賃金テーブルを設定している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	賃金テーブル以外に内容でも、職員のモチベーションに繋げる事が必要ではないかと？
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類になり、外部の研修(対面研修、オンラインどちらとも)に参加を行っている。今後は、職員が興味のある研修(介護技術、制度)にも感染状況を見ながら参加を進めて行く。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染予防に努めながら、社内研修・社外研修を受けていく。外部の研修は、どのような研修に参加をされているのでしょうか？
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、GH協会、GH連絡会、劇団/一期一会の活動は制限しているため、オンライン研修の活用やコロナが落ち着いたら上記活動を再開予定。			劇団/一期一会の取り組みはどのような対応をされているのか？

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族とも過去の生活歴も出来る限り把握し、ご本人の要望も聴きながら、職員と一緒に畑仕事や食器拭き、可能な方はモップで自室の掃除等を行っている。			入居者の方の今までの生活歴の中で取り組まれていた事(家事支援、畑仕事等)を行われていると思います。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況に併せ、対面での面会(玄関先で1回15分程度)やテレビ電話で面会を行っている。知人の方ともご要望があれば、面会を行っている	○コロナ過での面会の対応方法について		窓越し面会やテレビ電話での面会が行われている。面会は入居者の方も楽しみになると思うので、感染予防や状況に応じて検討していく。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族、元のケアマネージャーの方(新規入居時)に過去の生活歴や趣味・特技・要望を確認し、継続ができる内容であれば継続を行っている(畑仕事や手作業、家事、近場の実家を見たい等)。またその都度要望があれば必要時には計画を行い対応を行っている(ご飯が食べに行きたい等)が、全ての要望に応える事は出来ていない為(市外の自宅に行ってみたい等)、今後も内容を検討し、対応を行っていく。			コロナ感染予防に努めながら、できる限り、本人の生活歴の中で行われたいた事を一緒に行われている(畑仕事、手作業、家事等)と思う。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員が中心となり、更新時にモニタリングを行っている。また、全体会議(毎月開催)内でケアプランに沿った内容を話し合い、モニタリングを行っている。	○介護計画(ケアプラン)の立案について	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画(ケアプラン)の作成をする時に、主治医の意見をどう反映しているか？
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やヒヤリハット、よかったホット等を活用し、職員間で情報共有を行っている。また、以前より変更した内容や入居者の要望に関しては、介護計画書の見直しを必要に応じ行っている。		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員へ入居者の状況提供を行うが、どのように情報提供・共有を行っているか？(個人日誌、ヒヤリハット等)

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族より要望がでた場合、要望シートを作成し、職員へ情報共有を行っている。 医療面に関しては必要に応じ、主治医、理学療法士、作業療法士等から助言を頂いている。歯科に関しても歯科医から助言を頂く。	○日常生活で上がった相談内容・対応方法について		課題が上がった場合は、その内容の専門分野の方(主治医、歯科医師等)の助言を聴き、対応を行っていただければよいと思います。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況に応じて、地域の喫茶店に行ったり、楽さん家だより(新聞)を地区の方へ配布を行っている。	○コロナが5類に以降になり、少しずつ地域との交流を行っている。		コロナが5類に変更になったため、入居者の方の要望に沿って、喜ばれる支援をしていただければと思います。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初診後以降は、24時間往診が行われている。また必要に応じて訪問看護や訪問歯科も活用し対応している。ご家族から指定された医療機関であれば、ご家族にも協力をして頂き、通院(又は薬の処方)をして頂いている。			看護職員、主治医と24時間体制で連絡を取る事ができ、指示を仰ぐ事ができるのは安心できますね。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、関係機関へ入居者の情報提供を行った。退院時には、家族、病院(地域連携室)から情報提供を行って頂き、職員へ情報伝達を行っている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	よく対応をして頂いていると思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化した時の本人(又は家族)の意向を確認(ご家族には、状況が変化した時に再度要望の確認と内容の変更は可能と伝えている)。 主治医が看取りの判断を行った場合、看護職員が家族の意向を再確認し、主治医へ報告を行う。ご家族からの希望があれば、和楽に宿泊を行い、看取りを行った事例がある。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した時の対応や家族の希望を事前に確認し、ご本人又はご家族の要望・希望・方向性が決まっているので、安心できると思う。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故・緊急時のマニュアルを作成し、供覧していると共に全体会議や看護職員が個別に情報提供を行っている。 何かあれば、その都度看護職員、主治医の判断を仰ぐ。			緊急時にマニュアルの対応ができるか、チェックリストがあるとわかりやすいと思う。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回地域参加型の避難訓練（そのうち1回は防災訓練も含む）を行っている。コロナの状況が落ち着けば、家族も参加予定。新田の楽さん家と共同で開催するため、理解者（自治会長、地域役員）がいる。	○家族、地域参加型避難訓練（防災訓練）の内容を話す。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他の施設と比べて、避難訓練（防災訓練含む）を行う前に打ち合わせを行っている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心、羞恥心に配慮し、声掛けを行っている。入浴時にも脱衣所にカーテン（防災）を使用し、他者から姿が見えないように配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の拒否がある方に対して、どのように入浴対応を取られているのか？
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事時間の目安はあるが、ご本人の前日の就寝の状況や体調の様子を見て、食事時間をずらす事もある。入浴に関しては、その方の希望にできるだけそっているが、夜間（職員が一人体制時）に希望された時には、事故予防の為、翌日に対応を行う事もある。			入居者の方の以降を確認しながら対応をされていると思う。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の好みをご本人やご家族、日頃の食事状況を見て把握し、できるだけ無理に勧めないようにしている。又最初から少量だけ盛る等工夫を行い食事が苦痛にならないように配慮をしている。 食事形態（常食、ソフト食、ゼリー食）は、その方に合った内容を看護職員と相談。必要時には主治医へ相談し、栄養士、言語聴覚士より助言を頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の提供方法はどうか対応をされているのでしょうか？

				食事の準備・片付けも可能な方は職員と一緒に頂いている。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ナリコマの栄養士の方が約1,400カロリー/日(3食、おやつ)で計算している。 食事量、水分量は個人日誌やバイタルチェック表で量の把握をしている。			食事量、水分量の把握を行う。高齢者の方は、こまめな水分補給が必要になるため、ご本人の好まれる物(食事、水分)を提供されているため良いと思う。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行い、清潔を保っている(本人の状況に応じて、歯ブラシや口腔スポンジを使用)。必要に応じて、歯科医師、歯科衛生士に口腔内のチェックや助言を頂く。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアを拒否される方の対応方法を教えてほしいです。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌を活用し、排泄状況の把握に努めている。ご本人の意向、状況を把握し、各入居者の状況に応じ、布パンツ、リハビリパンツやオムツ等対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを把握するため、24時間シートを活用し把握に努めている。オムツの取り外しに関しては、研修を行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況に応じて入浴支援を行っているが、夜間(職員一人体制時)に入浴の要望が出た時には、事故予防のため要望に応じられない時がある。			入浴を楽しんで頂ける工夫(バスクリン等)も検討してみてもどうでしょうか？
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やご家庭の様子をご家族へ確認し、生活習慣や安心して休まれるように配慮している(電気や音の調整)。淋しい時には可能であれば添い寝をしたり、本人の要望を聞きテレビをつけ人の声がある事で安心して休まれる事がある。			就寝対応に関しては、各入居者の方に合わせて対応ができていると思う。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医に状況を報告、相談しながら対応を行っている事と薬剤師の方と看護職員が連携し、24時間何かあれば相談に乗って頂けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬拒否・吐き出しもあるため、入居者の方へ薬を提供した場合、飲み込みの確認が必要になると思います。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の方に在宅で生活をされていた時の状況を確認し、畑仕事や折り紙、家事(食器拭き、洗濯物たたみ等)を行っている。	○日中の生活(レクリエーション、家事等)について		色々な事に取り組まれている中で、各入居者の方が好まれているか確認(レクリエーション、家事、畑仕事等)も必要になると思います。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の要望で、散歩に行かれたり、地域の喫茶店・コンビニに行き買い物を行った。2 類の時にはコロナの感染状況によっては、室内メインでイベントを行う事もあった。	○日中の活動内容(外出支援)について		感染予防のため、今まで外出が厳しかったと思います。面会の制限が解かれたら、ご家族の方とも一緒に外出・買い物に行くことができたらよいと思います。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望があれば、金銭管理も行うが、現状要望がないため、要望があれば本人、家族と相談しながら対応していく。			ご本人やご家族の方から要望が出た場合、お金の保持をしていただけると良いと思う。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の要望があり、本人が携帯電話を所持している方がおられる。毎日家族より連絡があり、会話ができる事を本人も楽しみにされている。 他の方も、ご家族の希望があれば電話で会話をする事もある。			本人の意向に沿って対応ができていると思います。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペース(玄関、食堂)に季節がわかる飾り(花、壁面)を行っている。壁面は、入居者の方とも一緒に作成し、季節がわかるようにしている。 電気や生活音もできる限り、不快な思いをしないように、夜間休まれる時には、小豆電球にしたり、暗いのが不安な方は電気やテレビをつけ休まれる等要望に沿って対応を行う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方に季節を感じて頂けるように、壁面飾りを一緒に作成している。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の要望に沿って対応を行う努力はしているが、夜間一人体制の時に『散歩に行きたい』『お風呂に入りたい』等ご要望に沿え			要望の内容や職員の人数によって、ご希望に沿うことが難しい内容や時間帯があると思うが、入居者の

				ない時もある為、本人には状況を説明し、翌日に対応を行っている。			方の意向に沿った対応を行っていただければと思います。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族(知人)と本人の繋がりが切れないように、電話で話をしたり、はがきでのやり取り(年賀状、暑中見舞い)を可能な方には職員がサポートを行い対応している。			ご家族や知人の方等今まで繋がりのあった方をこれからも大切にしてほしいですね。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面、医療面に関しては、本人の状況に応じて、主治医と家族と連携し、対応している。本人の身体面に応じて、自室の環境(ベッドやタンスの位置等)を対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医や看護職員と24時間連携を図る事ができていると思う。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前にご家族や元のケアマネージャーのから生活歴の情報収集を行う事やご本人とコミュニケーションを図り、要望や状況を見て、生活をして頂けるように配慮をしている。			本人の要望やペースを大切にして、今後も対応をしていただければいいですね。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅で使用していた家具(馴染みの物)や小物(かばんや人形等)を持って来て頂き、使用されている。また家族写真を飾られている方もおられる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の方にも協力をしていただき、ご本人の馴染みの物を持っていただけるのは、安心間があると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、外部のイベントに参加が難しい状況。日中に外気浴や短時間の散歩を行っている。	〇コロナ過の外出支援について		感染予防のため、なかなか外出が難しい状況であったと思いますが、今後感染予防に気を付けながら、対応をしていただければいいと思います。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員で情報収集を行い、把握に努めている。本人より要望があれば、家事や畑仕事を一緒に行っている。			コミュニケーション、情報収集を行い今後もご本人ができる事を楽しみながら対応をしていただければいいと思います。

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況や希望により、自宅で生活をされる方や食堂で他の方と話したいと希望される方は、他入居者の方や職員とコミュニケーションやレクレーション、イベントを行い、生活をされている。	/	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各入居者の関係性を把握し、対応をされていると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の喫茶店に食事やコンビニに散歩がてら買い物に行き、好みのお菓子やパンを購入された。また、地域の方に楽さん家だよりを配布し、和楽の近況を伝えている。ただ、頻回には行けていない為、今後も感染状況等見ながら、対応を行っていく。 外出先で近所の方に出会ったら、顔を知って頂けるように挨拶を行っている。	○地域との交流、外出支援について	/	感染予防に努めて、今後地域との関係性も構築されたら良いと思います。地区の納涼祭等も今後対応をしていくので、参加し交流が図れればと思います。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方と信頼関係が少しずつ構築ができている。職員も入居者の方の状況を把握する事で、安心される声掛けをご要望を言って頂けたり、顔なじみの方が増え、笑顔が見られている。	○1～49 のまとめ	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も入居者の方の要望や意向に沿って対応をしてほしい。また、感染予防に気を付けながら外出支援や地域との交流に努めていく。

目標達成計画

事業所名 グループホーム 和楽

作成日 令和5年12月1日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	・新田の楽さん家と合同で避難訓練(防災含む)を行っているが、コロナウイルス感染予防で、家族・外部の参加ができていない状況である。緊急時の時のため、少しずつでも協力体勢を整えていく。	・家族が来訪された時や運営推進会議の委員の方、外部の方の参加を促していく(協力体制を仰ぐ)。	・運営推進会議の活用(委員の方へ情報提供) ・楽さん家だより(新聞)で情報提供を行う(避難訓練に関して) ・ご家族が来訪時に状況を伝え、実際に参加をして頂く事で、緊急時の対応を知って頂けるように配慮する。	12カ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。